

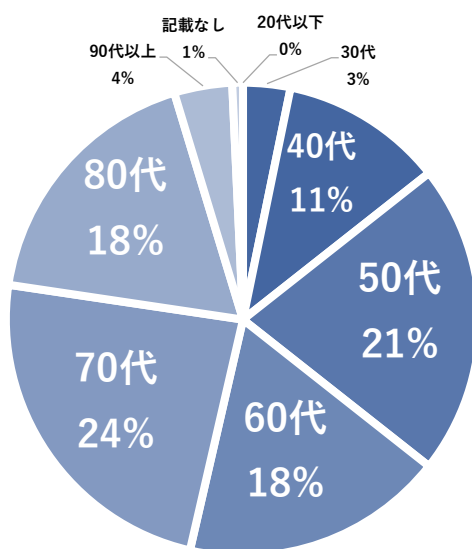
令和6年度 土砂災害に関するアンケート調査 調査結果

アンケートに御協力いただき、ありがとうございました。土砂災害に対する安全対策工事の実施の検討にあたり、支障となると考えられることなど課題を把握し、今後の土砂災害特別警戒区域内建築物安全対策補助事業の参考にさせていただきます。

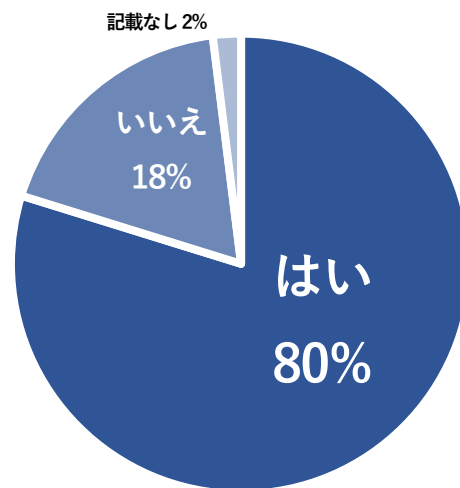
調査の概要

- ・ 調査対象・・・土砂災害特別警戒区域内の主に戸建て住宅から抽出した1,000戸に配布
- ・ 調査期間・・・令和7年1月～令和7年4月
- ・ 調査方法・・・紙面郵送又はアンケートフォームによる回答
- ・ 配布数・・・1,000通、回答数278通（回答率27.8%）

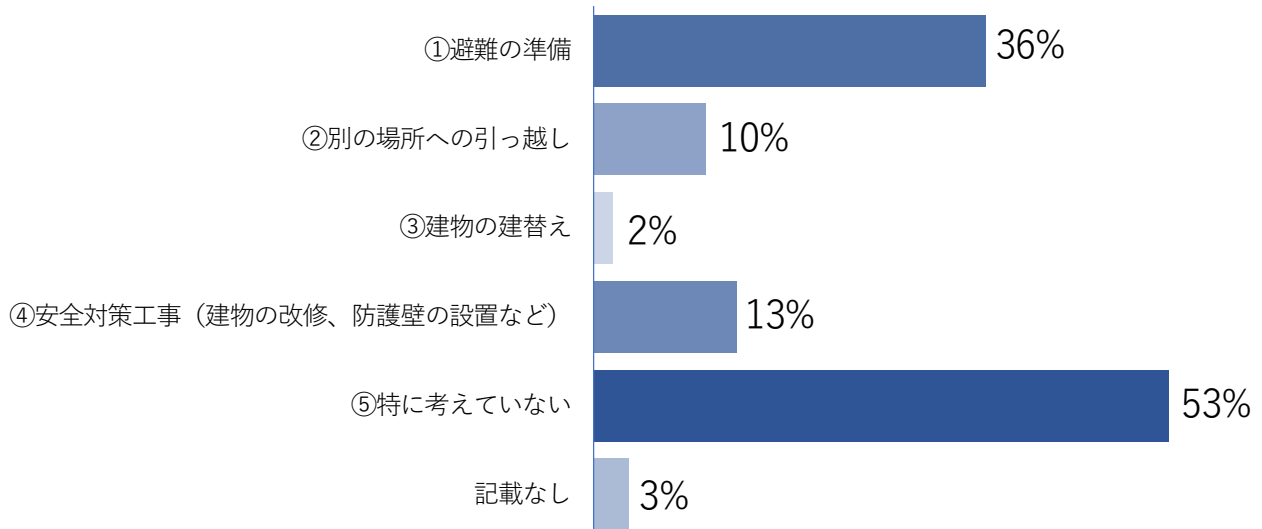
問1：あなたの年齢について教えてください。



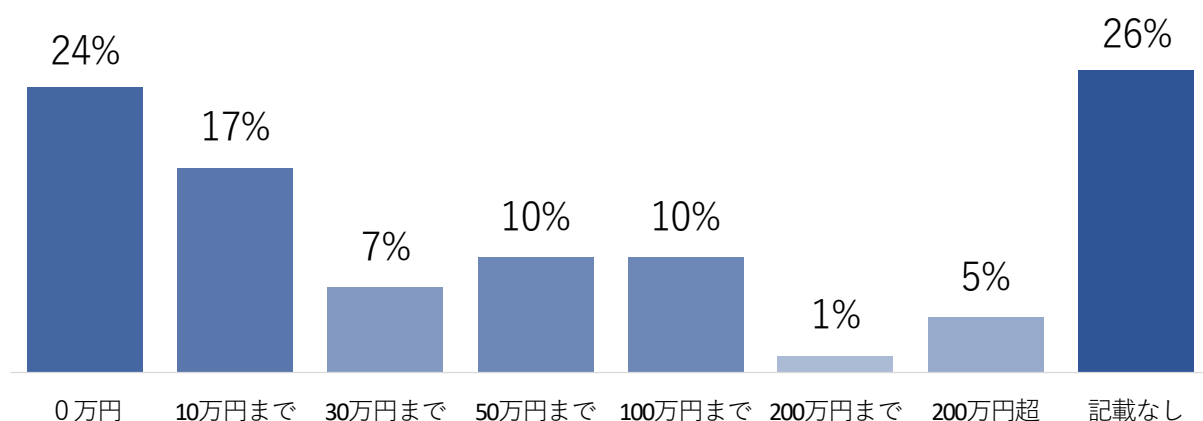
問2：土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）をご存じでしょうか。（レッドゾーンの認知度）



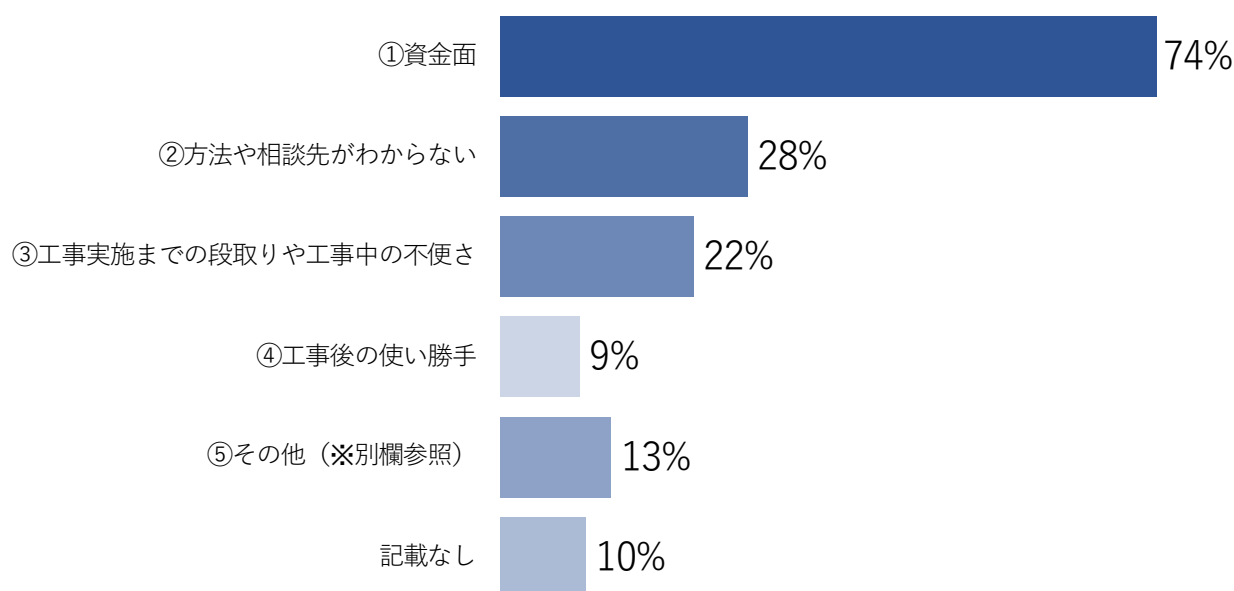
問3：土砂災害への備えとして、どのようなことを考えていますか。（複数回答可）



問4：土砂災害に対する安全対策工事に、どの程度の金額なら、自己負担可能でしょうか。(複数回答可)



問5：上記工事の実施の検討にあたり、支障となると考えられることは何ですか。(複数回答可)



※別欄：⑤その他の主な自由記述

- ・防護壁を設置する土地の余裕がない
- ・斜面が他者所有のため、その所有者が対応すべき
- ・1軒だけで対策を取っても効果が低いのではないかな
- ・補助金だけでなく、行政としてリスク低減を進めてほしい
- ・防護壁の必要性は痛感しているが、個人の力では限界がある
- ・工事以外の対策方法や、どのような対策があるか知りたい
- ・景観が損なわれる
- ・別の場所へ引っ越したい
- ・山林所有者が負担すべき
- ・所有者不明不動産がある など

問6：その他、土砂災害について、行政にどのようなことを望みますか。（自由記述）

※主なカテゴリーごとに分類して記載します。

1. 行政による費用全額負担・大幅な補助金増額要望

- ・行政側で関連費用や手続き等の負担を一括で持っていただけることを望む。
- ・個人がどうこうできる問題ではない。
- ・補助金を増額してもらいたい。

2. 広範囲・包括的な対策およびインフラ整備の要望

- ・一軒ずつの対応は無理なので、一帯をまとめて行政が擁壁工事をするべきと希望する。
- ・行政による砂防工事、地すべり防止工事、急傾斜地崩壊防止工事を進めて欲しい。
- ・河川、山林の整備を望む。

3. 現状認識・説明不足・情報の不透明さへの不満

- ・現在の土地、建物を購入したときは、災害指定されておらず、現在もローンを払っている。突然特別警戒区域に指定され、行政からの説明もない。
- ・町内単位で詳しい説明会を企画して頂きたい。

4. 資産価値低下・移転困難への補償・支援要望

- ・警戒区域に指定されたことで、家の資産価値がさがり、引っ越しを考えることも出来なくなった。一方的に指定され価値が変わり、その保証のようなものがあるのもいいと思う。

5. 山林・崖地の所有者への対応要望

- ・災害の元となる山の持ち主が現地に足を運び山の安全対策をしたら何も問題無いと思う。
- ・その土地の持ち主に、まずは対策をお願いしたい。その上で何ができるか何をすべきかを考えたい。行政には、まず、持ち主に働きかけ、行動を起こすように促してほしい。

6. 情報提供・相談窓口・アドバイスの要望

- ・各家庭によりどのような対策が必要か、また、その対策に要する費用がいくら必要か明示していただきたい。また、本当にどれくらいの危険性があるのか、詳細な情報をいただきたい。
- ・個別の相談となるとハードルが高い。その地域ごとに相談窓口を作るとかは難しいでしょうか。
- ・周知する事や工事をすすめるだけでなく、今ある環境でどのように防げるのかをともに考えるようにしてほしい。

7. 監視・点検・パトロールの強化要望

- ・土砂災害特別警戒区域を見回り現状把握し、災害発生前に事前対策を実施しておく。

8. 緊急時対応・避難支援の要望

- ・災害が起きる前に大雨の情報を知らせてもらう事。その上で安全に避難できる場所の確保をセットで提供してもらいたい。
- ・もし、避難する場合、家族に高齢者がいますので、移動の際の手助けが欲しい。 ほか

貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。